

Living the

LOTUS

Buddhism in Everyday Life

10 2017

VOL. 145

開祖随感

たがや

耕された心

カルチャー教室が大はやりです。カルチャーとは教養や文化のことで、「耕す」という言葉が語源だそうです。心が柔らかく耕されていてこそ教養ある人といえるのではないのでしょうか。

よく耕された土は、すべてを受け入れてはぐくみ育てるように、豊富な知識を具えるのは、それによって偏見や固定観念を離れて、ものごとをさまざまな角度から見られるようになるためなのです。ところが、うっかりすると逆に、たくさん詰め込んだ知識をこれみよがしに振りかざして、それで人を見下したり、人の言葉には耳も貸さないという態度をとってしまう人がいるのですね。

『法華経』には「諸の^{もろもろ}有^{あら}ゆる功徳を修し^{にゆう}柔和^わ質直^{しち}なる者」という言葉があります。本当によく耕された人となるためには、知識を学ぶのと一緒に、人に奉仕する実践が必要です。それが功徳を積むことです。

人の幸せのために働くことなどなにひとつしようとせず、ただ自分を偉く見せるための勉強であっては、心を耕すどころか、博識で武装した独善的な人間になってしまいます。「学んだことの^{あかし}証は変わることであり」という言葉があります。

(『開祖随感』9, P. 42-43)

Living the Lotus 2017年10月号 (Vol.145)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 水谷庄宏

編集チーフ: 金尾江利子

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



「苦悩」と「苦勞」

立正佼成会会長 庭野日鑪

悩むことは大事

人はだれでも、できれば悩んだり苦しんだりしたくないと思っています。しかし、どんなに幸せそうに見える人でも、程度の差はあれ、悩みごとの一つや二つは抱えているのではないのでしょうか。

たくさん悩んで苦勞を重ねたことが、のちのちその人の大きな心の財産になっているというケースをよく見聞します。今月四日に入寂会を迎える開祖さまは、子の病という苦悩が宗教とのご縁となり、その後、人生を大きく変える法華經との出会いがあったわけですね。そう考えると、「悩むからこそ、いろいろな教えを求め、どう生きることが大切なのかを真剣に考える」といえそうですね。誤解を恐れずにいえば、悩めばこそ向上があり、悩むことは人間にとって大事な経験だと思うのです。

ただ、それでも、できれば悩みたくないというのが人情です。まして、「悩みがありがたい」などとは、とても思えないのが、多くの人の正直な気持ちでしょう。

もちろん、それでもいいのです。水が冷たいか暖かいかは、それを自ら味わってみればわかる、という意味の禅語「冷暖自知」が示すように、苦しみや悩みは貴重な経験として「ありがたいもの」だということも、いろいろな体験をして初めて「ああ、ほんとうにそうだな」「苦があればこそその楽なのだ」と受けとれるようになると思うのです。

「大いなる苦勞人」に

釈尊は、「一切皆苦」——この世のものはすべて苦であると教えてくださっています。そして開祖さまは、「この真実をしっかりと見つめ直し、それを腹の底に据え直すことが、何よりも大切」で、「そうすれば、苦境というものは、なにも特別なものではなく、



人生にとって、ごく当たり前のことだということがわかってくる」「苦境を特別な状態だと考えるからこそ、苦しく感じたり、それを予測^{よそく}して不安におびえたりする」と喝破^{かっぱ}しています。

しかし、どうにもならないことだとわかっていても、それをなんとかしたいと悩み苦しみ、悶々^{もんもん}とした日々を送ることの少なくない私たちです。

天台宗の酒井雄哉大阿闍梨^{さかい ゆうさいだい あ じゃり}は、そういうときには「頭でずーっと考え事をしているよりも、『体』を使いながら、ひたすらなにかをやってみるほうがいい」といいます。

同じ苦しい状態でも、漢字で「苦悩」と書くときの「悩」は「心を乱す、思いわずらう」という意味で、これは頭のなかで問題が「停滞」し、堂々めぐりしている感じがします。一方、「苦勞する」というときの「勞」は、「つとめや仕事の疲れや骨折^{ほね お}り」をさし、そこには問題を一步前に進める「動き」があります。それは、先の「冷暖自知」に通じる得^え難^{がた}い経験にもなるのではないのでしょうか。

昔から「苦勞人」というと、数々の逆境に遭^あいながら、それが血肉となって世間の事情によく通じ、人間としての心の幅や器の大きさが感じられる人をいいます。

そのような意味でも、悩みや苦しみに直面したときには、体を使って「何かやってみるほうがいい」でしょう。そうすると「苦悩」が「苦勞」に変わります。その経験は、思慮深^{しりょぶか}さや視野の広がり、心の柔軟性や思いやりの深さなど、それぞれに人間的な魅力をもたらしてくれるはずです。

本会で、「悩んでいるときには、同じような悩みをもつ人の声を聴かせていただく」というのも、人さまのために労をいとわず動くことが、「苦悩」を「苦勞」に変える秘訣^{ひけつ}だからでしょう。感謝もまた、そこから生まれます。

釈尊は、すべての人を救いたいと決意され、布教伝道に邁進^{まいしん}された「大いなる苦勞人」といえるのです。

(『佼成』2017年10月号)



今この時を感謝と共に生きる

熊本教会
加藤悦子

この体験説法は、2017年4月1日、東京の大聖堂での朔日参り(布薩の日)ご命日式典で行われたものです。

皆さまお願いします。昨年の熊本地震の際には、会長先生をはじめ全国のサンガの皆さまから温かいご支援を頂き心より感謝申し上げます。

私は昭和47年、熊本県益城町の西山家の長女として生まれました。両親と祖父母から惜しみない愛情を注がれ、3歳年上の兄と共に何自由なく育てて頂きました。私が母のお腹にいた頃、父の女性関係に苦しんでいた母は、私を出産したあとも病院で毎日のように泣いていて、生まれたばかりの私を連れて実家に帰ることばかり考えていたそうです。そんな母は、私が生後5ヶ月の時に父の伯母に導かれて佼成会に入会しました。信仰二代目の私は、子供の頃、母が仕事から帰って家事を済ませたあと、近所の会員さんの家へ機関誌の『佼成』を届けてまわるのについて行っでは、行った先の家で眠ってしまい、よく母に背負われて帰っていました。学生時代は兄と一緒に熊本教会の日曜学校や練成会に参加していました。

私が自らの意志で信仰させて頂くようになったのは、主人との結婚がきっかけでした。大学3年生の時、私はアルバイト先の雇用主だった17歳年上の主人と出会い、お付き合いするようになりました。当時、主人は奥さんを病気で亡くし、小学校5年生の長男と2人で生活していました。奥さんが亡くなる直前に生まれた当時3歳の長女は、奥さんのご両親のもとで育てられ、主人と長男とは離れて暮らしていました。私は、仕事にも子育てにも一生懸命で、優しく頼もしい主人との結婚を考えるようになりました。自分に2人の子供の母親が務まるのか不安ではありましたが、両親に相談すると一言も反対せず、「あなたならできるよ。応援するから大丈夫」と私を信じて後押ししてくださいました。しかし、実はこの言葉は、娘の明るい未来を願い

育ててきた両親が心を痛み、反対したい思いを飲み込んで、血を吐くような思いで言った言葉だったことが、今、私自身が親になってわかるようになりました。この両親の言葉は、どんな時も私を支えてくれました。いつも深い慈悲の心で導いてくださる両親です。お父さん、お母さんありがとうございます。

平成7年、私は大学卒業と同時に主人と結婚し、主人と中学1年生になった長男と5歳の長女との生活がスタートしました。結婚する前からよく一緒に過ごしていた長男は、主人と私の結婚をとても喜んでくれました。持病のあった主人の前妻さんは、長女を出産する直前にくも膜下出血で倒れ、長女は帝王切開で生まれました。その2週間後に前妻さんは亡くなり、長女は一度も母親の腕に抱かれることがなかったそうです。生後、母方の祖父母に大切に育てられ、伸び伸びと感受性豊かな子に育っていました。主人と私の結婚で「私にもママができた」と、主人のもとへ帰ってきました。とても人懐こく、私にもすぐに懐いてくれましたが、やはり両親代わりの祖父母と離れることは、幼い長女にはとてもつらかったのでしょう。夜泣きすることも度々ありました。「大丈夫よ」と抱きしめていても泣き止まず、祖父母のもとへ帰してあげたほうが、この子は



大聖堂で説法する加藤さん

幸せなのではと切なくなり、涙することもありました。その後、主人と私の間にも2人の子供を授かりました。すぐに懐いてくれた長女も弟と妹が生まれ、親に甘えたくても甘えられず、次第に弟と妹に当たるようになりました。私は、その悩みを支部長さんや支部の婦人部員さんに聞いて頂き、家庭教育などの勉強に誘って頂くようになりました。しかし、宗教が嫌いな主人には、最初は教会のことを話せずにいました。婦人部団参や婦人部青梅練成など次々に声がかかると、私は主人の好きな料理を作り、三つの実践を家庭でさせて頂きながら、主人に少しずつ教会のことを話して理解して頂けるようになりました。

やがて長女が成長して年頃になると、私は長女の言動に悩まされるようになりました。そんな中、支部少年部長、支部婦人部長とお役を頂き、婦人部第一課程、第二課程、第三課程の勉強をさせて頂くことで、婦人部員さんと喜びや悩みを分かち合いながら、自分に不都合に思える現象を通して、仏さまは何を教えてくださいのだろうと考えられるようになっていきました。長女のことだと思い悩んだ時は支部長さんや主任さんに結んで頂き、心を立て直していきました。悩みながらも、主人や子供たちのことをさせて頂ける自分が、どれほど有り難い今を頂いているか教えて頂き、家族一人ひとりを精一杯大切にしていきたいと思えるようになりました。また、亡くなった娘の生まれ変わりのように大切に育ててきた孫娘を私に託して下さり、2人の孫の幸せを念じてくださる先妻さんのご両親の思いに応えたい、そして子供たちと本当の親子になりたいと思える心にならせて頂きました。

平成24年3月、それまで病気もせず健康に恵まれていた私は、入浴中に突然、風呂場の床一面が真っ赤になるほど大量の不正出血を起こしました。婦人科で子宮頸がんと診断され、子宮、卵巣、リンパにも転移の可能性があるため、一日も早い切除手術が必要と言われました。死が脳裏をよぎり、ショックで頭の中が真っ白になりました。自分がもし死んでしまったら家

族はどうなってしまうだろうかと考えると、幼い2人の子供を残して亡くなられた先妻さんの、妻として母親としてご主人や子供たちにしてあげたくてもできなかった無念さを思わずにはいられませんでした。手術日が決まるまでの日々は、不安で胸が押し潰されそうになりました。支部長さんに胸の内を聞いて頂き、病気のことも、これからの生活のことも自分の力ではどうにもならない、仏さまを信じてすべてお任せしようと思えたとき、不思議と心が楽になりました。仕事を辞め、徳積みをさせて頂きながら、手術までの日々を、後悔のないように家族を大切にして穏やかな心で過ごすことができました。何よりも、自分が代わってあげたいと無条件で私を愛し念じてくださる両親や、不安な思いでいっぱい主人と子供たちを安心させるために、私にできることは前向きに明るく過ごすことだけでした。たくさんのお陰さまを頂いて、手術後は再発や転移することなく、今日まで過ごさせて頂いております。退院後初めて教会道場のご本仏さまのお姿を見た瞬間、私は仏さまやご先祖さま、そして多くの方々に生かされて今いのちを頂いている有り難さに、心が震え、涙が止まりませんでした。病気を通して、たくさん幸せを頂いていることに気づかせて頂きました。そして、病気で苦しんでいる方々に寄り添える心を授けてくださった仏さまの深い慈悲を感じ、この命を人さまのお役に立てていくことが私の使命なのだと思います。

平成26年6月、長女は2人目の子供に恵まれました。しかし娘婿の仕事がなかなか続かず、幼子2人を育てながら仕事しなければならず、精神的にとても不安定な状態でした。当時私は教会教務員のお役を頂いていて、孫たちの子守を手伝っていました。長女の鬱積したストレスは、ある日とうとう爆発し、その怒りは私に向けられました。長女は私に暴言を吐き、私たちはつかみ合いの大喧嘩になりました。孫を抱く私に容赦なく向かってくる興奮した長女を主人も止められず、近所の方の通報で駆け付けた警察の方が止めてくださいました。

Spiritual Journey

「親とは一度も思ったことはない。」「血も繋がっていないのに母親面するな。」私に向けられた長女の言葉に、私は愕然としました。「娘に今までこんな思いをさせてきたなんて、この20年間私は何をしてきたのだろう、母親になることなど所詮無理だったのか」と自信をなくし、体の怪我以上に心が深く傷つきました。長女のことを考えると涙が溢れ眠れない日々が続きました。体の傷が良くなるまで教会を休ませて頂きましたが、その間も両親や支部長さん、教務部長さんが心配して顔を見に足を運んで下さいました。しかし、このまま立ち止まっているわけにはいかないと思い、教会長さんのご指導を頂きました。教会長さんは、「これまでの努力が足りなかったのではなく、努力して頑張ってきたからこそ、今のあなたなら受け止められると仏さまがこの現象を下さったんだよ」と言ってくださり、私の心の傷をとて心配してくださいました。私が精神的に立ち直るまでは、心配であっても長女のことには娘婿に任せておくようにとの教会長さんのお言葉に、長女との関係に責任を感じていた私の心は少し楽になりました。実際、その頃の私は、車の運転中に長女と同じ車を見かけただけで動悸が起きていました。長女や孫たちに再び会えるようになるまでに1年ほどの期間が必要でした。その間、当時高校3年生の次男と高校1年生の次女は、2人で話し合って長女の相談に乗ったり、長女と連絡を取り合って互いに行き来したりしては、そのときの様子を私に伝えてくれました。

ある日、次女と長女の話をしていたとき、次女が「姉ちゃんがつらい思いして生まれてこなかったら、私たちも生まれていないね」と言ったのです。その言葉に私はハッとしました。長女が実の母親と死別して、つらく寂しい思いをしてまでもこの世に生を享けてくださり、そして先妻さんが自分の命と引きかえに長女を産んでくださったからこそ、私は主人と出会って2人の子供たちを授かり、現在の有り難い人生を歩ませて頂いていたのです。長女の幸せこそが私の幸せなのだ、20年をかけて、そのときやっと気づかせて頂

きました。現在、長女は3人の子供たちを育てながら日々頑張っていて、我が家にも帰ってきてくれます。何よりも、つらい時にお互いを思いやり助け合う4人の子供たちの成長した姿を見ることが、主人と私の一番の喜びです。

昨年11月、今年度から婦人部長のお役をと、教会長さんがお声をかけてくださいました。しかし、経済的に不安な現状で仕事を辞めてお役に専念できるのか、また私にお役が果たせるのか不安で、毎晩眠れずに悩みました。しかし悩んでいる中で、先の心配にとらわれて、今この瞬間の幸せを心から喜ぶことのできない自分が見えてきました。そして、まだ起きていない未来の心配をしていては、今を大切にすることはできないことに気づかせて頂きました。どうにもならない時は、ご指導を頂きながらそのつど考えていければいいと心を決めました。

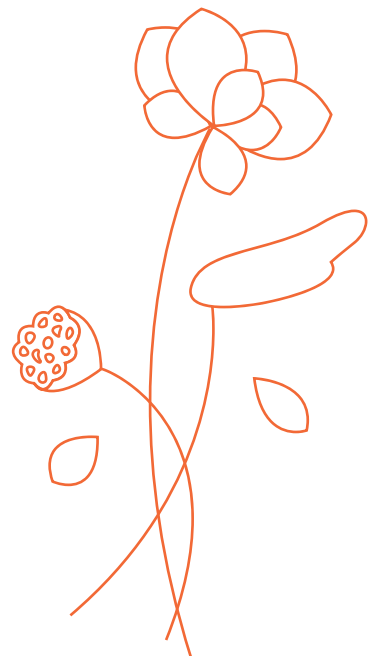
熊本教会発足60周年の意義ある有り難い年に、次代を担う婦人部のお役を頂くことは、仏さまの深いお慈悲と感じております。私自身が目の前の婦人部員さんとのふれあいの中に感謝(ありがとう)のこころをたくさん見つけ、言葉をかけていくことをテーマに、婦人部員さんと共に今この瞬間を大切にして、精進することをお誓いさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



婦人部員と万灯の花折りをする加藤さん(左手奥から2番目)

Living the **LOTUS**



結婚相手が見つからない息子が心配

Q

40歳を過ぎた長男が結婚しないことが悩みです。私たち親子は共に農村で暮らしており、若い人の多くが都会に就職するため、年ごろの女性と接する機会はほとんどありません。息子は、「母さんと同居してくれる人を」と頑なに考えています。お見合い話も減り、将来が心配です。



A

息子さんに一日も早く幸せになってほしいと願うお母さんのお気持ちはよくわかります。また、お母さんを思いやる息子さんの考えも伝わってきます。お互いの思いやりゆえの悩みでは?そこで本音で話し合ってみてはいかがでしょうか。

息子さんの考えていることも、お母さんの胸の内もお互いに理解し合うことが大事なことです。その上で、お母さんが「私は大丈夫。あなたは、あなたの道を歩みなさい」と息子さんを信じて、本心で背中を押してあげてほしいのです。お互いに信頼という礎ができたとき、息子さんは大人としての一歩を踏み出せるのではないのでしょうか。

また、息子さんも婚活に参加したり、同窓会などに積極的に参加してみる努力も必要でしょう。自分の思うようにいかないこともあると思いますが、人とふれあい、さまざまな経験をすることで、息子さん自身、人間としての成長があるはずです。

現代は農業をやりたい、農家に嫁ぎたいという女性も多くなっています。また、結婚だけが幸せとも限りません。

どのような条件の中でも、わが子がイキイキと明るく頑張っている姿を見ることこそ、親の幸せ、子の幸せだと思います。



(回答:東京家庭教育研究所)

協力: 東京家庭教育研究所

〒166-0012 東京都杉並区和田1-5-12

電話 03(3381)0705

FAX 03(3381)0723

<http://www.kateikyoiku.jp/>

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に応じています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

親子の縁

40歳を過ぎるまで、かたくなにお母さんと同居してくれる人でなければ結婚しないと言いつける息子さんは、なんて親思いの優しい、しっかりした芯を持った息子さんでしょうか。

結婚は早ければ幸せというわけではありません。年齢を重ねることで、ものの見方が練られ、幸せな結婚をされている方も少なくありません。

会長先生は本当の幸せについて次のようにご法話くださっています。

「親がいて子どもがいること、毎日、元気で仕事ができること、ご飯がおいしく食べられること、ささやかでも人さまのお役に立てること、多くのお陰さまに支えられて、こうして生きていけること……。そうしたありがたいことを一つ一つ見つけて数え上げていくと、その人の生きる道には楽しみが増え、笑い声が増え、幸せが増えていくのです。

いま、自分がすでに手にしているもの、それが最高にありがたいことなのだと気づいていくことが、本質的な幸せの発見につながります。」(『こころの眼を開く』P. 289, 3~9)

改めて、今すでに手にしている幸せを親子でかみしめながら、息子さんが今後どうしたいのか話し合うことは大切なことです。

(立正佼成会習学部監修)



Please give us your comments!



Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

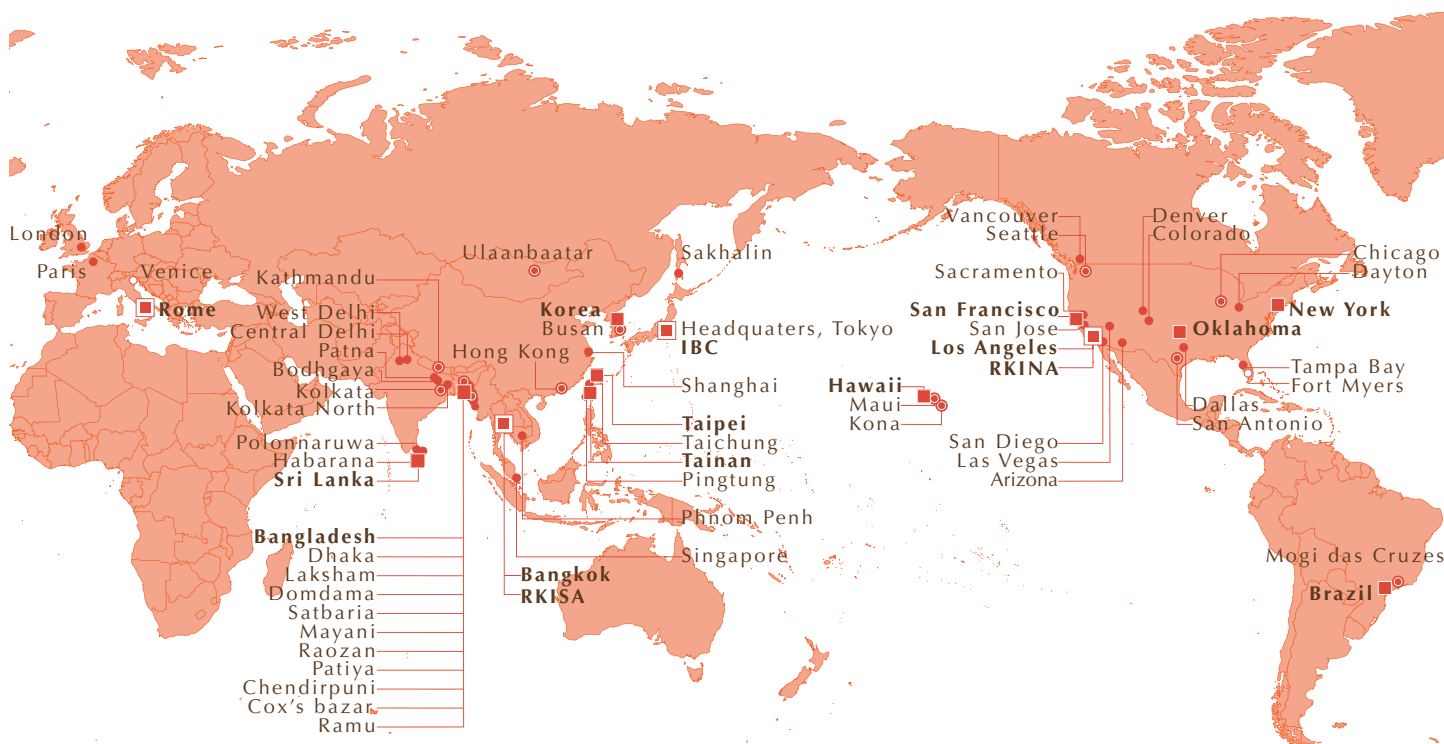
困難に前向きに立ち向かう

アメリカの小話です。一週間の仏教リトリートの参加者の中に周囲をととても悩ませる人がいて、みんなから嫌われていました。ある日のこと、彼はリトリートでの生活に我慢できなくなり、施設から突然出て行ったのです。彼がいなくなり他の参加者はみんな大喜び。しかし責任者の僧侶は車で追いかけて、彼を連れ戻してきたのです。参加者たちががっかりする中で、ある少年が小声で僧侶に聞きました。「なぜあの人を連れ戻してきたの？」僧侶は答えました。「だって私が彼を雇ったんだよ。」

この世の悩み、苦しみは尽きません。今月の会長先生のご法話を頂き、ものごとで苦悩するかどうかは本人次第と受けとめました。そして、むづかしい状況にいる自分の心をありのままに見つめ、苦をもたらし状況や体験の真の意味や価値に気づくことが仏道を歩むことと学びました。開祖さまは困難な問題にぶつかると、「これはますます面白くなってきたぞ」とやる気が湧いてきたそうです。私も困難に前向きに立ち向かっていこうと思います。

国際伝道部長

水谷庄宏



🌸 RISSHO KOSEI-KAI INTERNATIONAL BRANCHES 🌸

Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers

2017

Rissho Kosei-kai International

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles
CA 90033 U.S.A
Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center
28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, U.S.A.
Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261
e-mail: rkseattlewashington@gmail.com
http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio
6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.
P.O. Box 692148, San Antonio, TX 78269, USA
Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745
e-mail: dharmasanantonio@gmail.com
http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay
2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.
Tel: (727) 560-2927
e-mail: rktampabay@yahoo.com
http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.
Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633
e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center
1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.
Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center
73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, U.S.A.
Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567
e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.
Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437
e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, U.S.A.
Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499
e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, U.S.A.
Tel : 1-773-842-5654
e-mail: murakami4838@aol.com
http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112, U.S.A.
Tel & Fax: 1-405-943-5030
e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204, U.S.A.
Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419, U.S.A.
http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,
CEP 04116-060, Brasil
Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377
Fax: 55-11-5549-4304
e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,
CEP 08730-000, Brasil
Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongzheng District, Taipei City 100, Taiwan
Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433
http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung

No. 19, Lane 260, Dongying 15th St., East Dist.,
Taichung City 401, Taiwan
Tel: 886-4-2215-4832/886-4-2215-4937 Fax: 886-4-2215-0647

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696
e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,
North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960
e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949
e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK

Rissho Kosei-kai of Venezia

Castello-2229 30122-Venezia Ve Italy

Rissho Kosei-kai of Paris

86 AV Jean Jaures 93500 Tentin Paris, France

International Buddhist Congregation (IBC)

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 *Fax:* 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

Rissho Kosei-kai of South Asia Division

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 *Fax:* 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division

Rissho Kosei-kai of Central Delhi

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka
New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B, P. Township, P. O. Panchasayar,
Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Singapore

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218 *e-mail:* info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu

Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 *Fax:* 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Rissho Kosei-kai of Habarana

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Other Groups

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai